

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会 バイオものづくり革命推進ワーキンググループ（第2回） 議事概要

- 日時：令和5年3月23日（木）9：00～11：00
- 場所：経済産業省別館218各省庁共用会議室及びオンライン
- 出席者：関座長、糸久委員、魚住委員、片田江委員（オンライン）、佐々木委員、山本委員（オンライン）、吉富委員

■ 議題：

- ・ バイオものづくりの全体像について（非公開）
- ・ バイオものづくり革命推進事業について
- ・ 事前評価について

■ 議事概要：

事務局である生物化学産業課より、資料2～3に基づき説明があり、議論が行われた。資料3に関して、委員からの主な意見は以下のとおり。

- モニタリングの機会がステージゲートの延長という形だと、計画通りできているかという観点だけになってしまうため、外部環境の変化という視点、海外の環境を踏まえてこの方向性でいいのか、ここを変えるべきではないかといった提案が主体的に出てくる場になるといい。
- 応募者の事業戦略ビジョンについて、SDGsの視点を積極的に取り入れるような目標設定などを入れることが重要ではないか。気候変動だけではなく、生産者の貧困への対応などESG投資的な観点も盛り込むとよいのではないか。
- LCAの箇所に関連して、環境負荷の軽減も重要であるが、安全保障的な観点について配慮のある事業も評価対象とすることも重要ではないか。また、環境負荷の低減面では100点でもサプライチェーンは海外に大きく依存する事業と、環境負荷の低減面では50点でも国内でサプライチェーンが完結する事業がある場合、それぞれの重要性をどのように評価するべきかあらかじめ考慮しておいた方がよい。
- 運用との兼ね合いで、全体を5つの項目分けているが、5項目全てを支援するのではなく、一部の場合もある。事業者には支援項目以外も含めて全体を計画していただきたい。原料を作ってどう使われるかという点、マーケットにしっかりとつなげる方策等、計画の中に書いていただくようにして欲しい。結局出口まで行かないと意味がないので、事業化することは必ずコミットさせるべき。

以上

（お問合せ先）

商務・サービスグループ 生物化学産業課

電話：03-3501-8625

FAX：03-3501-0197